

新型コロナウイルス感染拡大防止に伴う一斉休校について

4月学校再開に向けて、学校現場においても、感染拡大を防止するための対応を入れた準備をすすめてきました。そのような状況の中、新型コロナウイルスの感染拡大に伴い、4月2日、県教委が各市町教委に対して小中学校の休校期間の延長を要請したことを受け、県内の多くの自治体は、始業式や入学式を行った上で、2週間程度の休校を決めました。

しかし、4月7日の緊急事態宣言、8日に県からの休校要請を受け、3市1町においても5月6日までの休校延長となることが現段階で想定されています。(4月8日現在)

湘南教組としても、休校措置については、「子どもたちの安全」「私たちの安全」の観点から、やむを得ない判断だと思っています。その一方で、休校の長期化による「学習の保障」の課題、様々な家庭状況がある中での学校が担ってきた「安心して過ごせる場所」がない課題などがあります。このような事態で、子どもたちにとっての学びの場・生活の場である「学校」の役割が再認識されたことは間違いありません。

この間の感染拡大の状況に伴う度重なる休校期間の延長によって、休校中の対応の変更や行事を含めた教育課程をどう編成していくのか等の議論で学校現場も混乱・疲弊していることと思います。日教組は、全国からの声を受け、文科省に対して学校再開した場合の対応のために人的配置や予算の増額を求めて協議しています。引き続き、神教組・日教組を通じて、国や県に現場の声を意見反映していくとともに、組織内議員や推薦議員に対しても、議会の場等で現場の声を発信するようとりくんでいきます。

教職員の服務に関しては、3月に新設した拡大時差出勤と特別休暇の継続を確認し、自粛要請に対応した制度の新設に向けて、引き続き市町教委と交渉していきます。

湘南教組は、新型コロナウイルス感染が収束し、子どもたちの安心・安全や受け入れ体制が確保される中で、一日も早く学校が再開できることを願っています。先が見えない状況だからこそ、組合への結集をお願いし、執行部も組合員のみなさんのためにとりくんでいきます。ご質問やご心配なこと等がありましたら、ご連絡ください。

第65回定期大会の開催形式変更について

5月14日15日に藤沢市民会館にて開催予定だった定期大会については、新型コロナウイルス感染拡大防止の観点から、今年度については書面開催に変更しようと考えています。現在、執行委員が分会に資料を配付しながら、各分会にて書面開催の定期大会を承認するかどうかの確認をしている最中です。書面開催が賛成多数で承認されれば、改めてお知らせいたします。このような状況ですので、開催形式変更についてご理解ご協力をお願いします。